

令和3年度第2回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 令和3年8月23日(火) 午前9時45分から正午まで

場 所 日進市役所 第2・3会議室(傍聴場所 第1会議室)

出 席 者 松本幸正(会長)、横江孝順(委員)、川口洋子(委員)、小林裕之(委員)、多田直紀(委員)、吉岡実(代理:白井雅宏)、佐藤幸太(委員)、山内三奈(代理:鈴木隆史)、澤木徹(代理:八木郁也)、坂井敏也(代理:青木健太郎)、島村紀代美(委員)、小宮山享(委員)、鈴木直宏(委員)、新見春子(委員)、浅井和貴(委員)、寺田裕美(委員)、大竹弘真(委員) 青山雅道(委員)

欠 席 者 中嶋久(委員)、吉田篤史(委員)、増岡裕仁(委員)

事 務 局 生活安全部 萩野部長
 防災交通課 鬼頭課長
 防災交通課移動政策室 三好室長、井筒係長、水谷主査、渥美主事

オブザーバー 野村圭一(地域福祉課)、坂井将哉(土木管理課)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 あり(12名)

発 言 者	内 容 (要 旨)
事 務 局	定刻となりましたので、ただいまより令和3年度第2回日進市地域公共交通会議を開催します。 はじめに松本会長よりご挨拶いただきます。
会 長	挨拶
事 務 局	本日の定数を確認致します。本日の出席者は委員21人中18人、欠席者3人であり日進市附属機関の設置に関する条例施行規則第4条第2項に規定する会議の開催に必要な1/2以上の出席をいただいていることをご報告します。 また本日は新型コロナウイルス対策として傍聴の方は第1会議室を用意し、会議をご覧いただけるよう準備をしていることをご報告します。 続きまして、会議の公開について説明します。日進市市民参加及び市民自治活動条例第12条の規定により、原則公開とされておりますが、同条例、施行規則の第15条に会議の内容によっては、非公開とすることもでき、会議の公開、非公開の決定は、会長が各委員にお諮りし行うこととしております。会長よろしくお願いたします。
会 長	今回の議題は、特に個人情報並びに個人の利害に関わる内容は含まれておりませんので公開とさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。
委 員	異議なし
会 長	では公開とさせていただきます。
事 務 局	それでは、議事に入りたいと存じます。議事進行につきましては、日進市附属機関の設置に関する条例施行規則の第14条で会長が行う旨規定されておりますので、松本会長よろしくお願いたします。
会 長	まずは、くるりんばす部分改正案についてみなさんにご協議いただくところがございますが、先日専門部会が開催されて議論いただいております。横江部会長からその

	<p>内容について、ご報告いただきたいと思います。横江部会長どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
部 会 長	<p>令和3年7月19日(月)に令和3年度第1回日進市地域公共交通会議専門部会を開催いたしました。会議の内容としましては、昨年度作成した部分改正案に対するパブリックコメントの内容を受けて、事務局側で一部再考した案について議論したものととなります。</p> <p>具体的な議論のポイントを申し上げますと、1点目としてはダイヤの観点からの修正となります。部分改正案としましては、くるりんばす全体として現行ダイヤよりも1便の始発時間が早まる状態となっており、三本木線については始発時間が現行ダイヤから10分早くなる案となっておりました。しかし、パブリックコメントの結果、小学生の通学利用への影響があることがわかり、現行ダイヤと同等の内容とすべく、案を修正したものととなります。この修正に合わせて、くるりんばすの運転士の労務時間を変えない中で、くるりんばすの乗り継ぎ性の確保、遅延の解消の関係から、岩崎線につきまして、一部の便で路線をショートカットする案へ修正を行うことで説明があり、賛成となりました。</p> <p>2点目としては赤池線、米野木線の市役所発着についての再考です。運転士の休息時間の確保の関係から日進駅到着時に継続して乗車する利用者がバスから降りる必要があるという問題から、部分改正案としましては、日進駅での発着を市役所発着へ変更することとなっておりました。</p> <p>これまでの議論の中で、日進駅での乗り継ぎ性についての議論がされていなかったとして、事務局側から再考する内容で提案があったものとなります。現行のダイヤは、米野木線、循環線から日進駅で赤池線に乗り継ぎをすることで赤池駅までの利便性が確保されているとのことでしたが、市役所発着となることにより、米野木線が日進駅に着いたときには既に赤池線は日進駅を出発していることとなり、一部の利用者において赤池駅までの利便性が大きく損なわれることとなるとのことでした。専門部会としては、一部の利用者の利便性が損なわれることにはなるかもしれませんが、運転士の休息時間の確保のためには今回の部分改正のタイミングでは待合環境の改善ができず利用者のバスからの降車が必要になること、また、今回の提案がパブリックコメントでの指摘によるものではないことから、これまでの専門部会において行ってきた議論の経緯を優先し、現行の日進駅発着を維持するのではなく、パブリックコメントにかけた部分改正案の市役所発着とすべきという結論となりました。</p> <p>その他、部分改正案にはあったものの、公安協議や地権者への確認の結果、実現ができなかった部分についての説明がありました。これらについては代替案が作成可能な部分については代替案での修正、代替案が作成不可な部分については修正なしとする旨の説明があり、賛成となりました。</p> <p>以上が専門部会での議論の内容となります。詳細な内容につきましては、このあと事務局より説明があると思いますが、提示される資料の内容が、専門部会において了承済の内容であることを部会長として報告いたします。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。それから専門部会のみなさまご協議頂きありがとうございました。それらを踏まえまして、専門部会で議論いただいた内容を含めて最終案と</p>

	<p>ということで皆さんにご確認いただきたいと思います。それでは事務局の方からくりんばす部分改正案について説明をお願い致します</p>
事務局	<p>議題（１）くりんばす部分改正案について資料に基づき説明</p>
会長	<p>ありがとうございました。前回、パブコメにかけの案をご承認頂いた訳ですが、さらにそこからパブコメ案を受けて、専門部会でのご議論いただいた内容を踏まえて最終の修正案ということになります。</p> <p>これに関しましてご質問ご意見また気になる点等ございましたらお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>ちょっと細かい部分で２ページのところ、スポーツセンター、日進西高校のところは地権者が斜線になっていますが、２２ページにもう一度スポーツセンターと出てくると思うのですが、地権者６月２８日と入っています。スポーツセンターは６月２８日に地権者と協議済という整理でいいのかというのが１点目です。</p> <p>他の市町でもありましたが、集合住宅の前にバス停留所を置いた場合、その管理人の方はOKを出しても、１階にお住まいの方がNOと言う場合があります、実際に協議が整った後に覆ったケースもありました。例えばこの日進西高校では、その辺りの確認がとれているのかどうかお聞かせいただきたい。</p> <p>あと資料の記載不備云々に関しましては、１８ページの岩崎線のところを含めまして、今後ホームページで資料を公開されると思いますから、適切にお直しいただければと思います。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>地権者の部分に関しましては、６月２８日の記載があるのが誤りで、斜線が正しいです。日進西高校とスポーツセンターにつきましては、道路上にバス停を設置させていただく予定になっておりますので、許可は必要ないと判断しております。ただ、隣接する土地の地権者の方につきましては、設置させていただく予定を郵送で確認しておりまして、現状特に反応はありません。ただおっしゃる通り居住者の方のお話はありますので、その辺りに関しては検討したいと思います。</p>
会長	<p>加えて資料については修正頂ければと思います。ありがとうございました。バス停の設置をするにあたって、許可がいるかと言うと許可はいらなくても、やっぱり配慮は必要なので市の方からしっかりとご説明いただければということだと思います。その他いかがでしょうか。</p> <p>ダイヤについては、微修正があるというご認識でいただければと思っております。本当は余裕があるのであれば、日進駅で多少バッファを持たせて余分に止まっているということもできたらと思うのですが、次便までの休憩時間がギリギリなので日進駅で余裕を持って止まるなんてできないですね。</p>
事務局	<p>現行のダイヤを基本的に維持するというのを主眼において、市役所での同時発着に修正をさせて頂いております。今日の会議の決定を受けた後実車走行を実施しますので、詳細な時間について微修正は行われる可能性はありますが、概ねお示ししているダイヤのとおりとなります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。日進駅は同時に何台バスが停車できるのでしょうか。２台くらいですか。</p>

事務局	北側ロータリーがあまり渋滞していないので、現行くるりんばすは2台大きい支障なく駐車停車させていただいています。あとは東郷町のじゅんかい君が入り込んでいますので、時間帯によっては日進の循環線も含めると最大で4台バスが停車しているといえます。
会長	ありがとうございます。微修正のところで乗り継ぎの利便性が確保できるのであれば、多少日進駅の発着の時間に差をつけていただくといいのかなと思います。詳細を詰めていく段階で可能な範囲でお願いします。その他いかがでしょうか。
委員	1点だけ確認させてください。新設のバス停について、前後の時間をあまりとっていないと感じます。例えば日進西高校の前の平子南が7時29分、次の新設の日進西高校も同じ29分ということで、お客さんがいないと通過するというのも考えてのことなのかなとも思いますが、この辺の余裕はどういう考え方でダイヤ設定したのか新設の箇所が特に気になるので確認させてください。
会長	事務局お願いします。
事務局	名鉄バスと協議をしながらダイヤを決定させていただいているところです。 基本的にバスは早発できませんので、時間の調整を行うバス停と調整しないバス停を設定するという方法がありまして、調整しないバス停では乗降者がいなければ通り過ぎるだけというような、ある意味早めの時刻に設定しています。乗降者がいた場合、調整するバス停では余裕を持った時刻に設定しているので、そこで遅れを吸収するというのを繰り返し、便が進んでいくというダイヤ構成になっています。例えば日進西高校で言うと、その次の藤塚南のバス停まで3分取っているのですが、赤池駅を出てからここまでの間で遅れが生じた場合は藤塚南で吸収するというようなイメージです。
会長	ありがとうございます。その他いかがでしょうか。私から1点お願いします。ショートカットする部分がありますね。これは休憩時間の確保のためにやむを得ないというのは理解できておりますが、現況としてここをショートカットしても問題ないということを少し補足説明いただければありがたいと思います。岩崎線におきまして、いくつかの便が竹の山中からそのまま南下してくるということで、名外大とかグリーンハイツ等々がショートカットされてしまいますので、ここの状況を教えてください。
事務局	今回ショートカットをさせていただくことになるバス停は、名外大・名学芸大前と名外大・名学芸大東、グリーンハイツの3つです。名外大・名学芸大前と名外大・名学芸大東につきましては、基本的に利用者は学生であるため、前後の便への振替が可能であると考えています。通勤通学用に影響の大きい1・2便に関して今回は変更はありませんので、この2つのバス停に関しましては前後の便への変更で対応していただけるのではないかと考えています。 グリーンハイツのバス停に関しまして、くるりんばすのバス停は全体で134バス停あります。その中でもグリーンハイツバス停の利用頻度はかなり低い状態です。全体で言いますと4年間の合計で0.07%となっております。そういった状況ですので、こちらに関しても利用者への影響はごく小さいものになると判断しております。 以上のことから今回このショートカットさせていただくことにはなりますが、この3バス停の該当便の利用者の方に関しましては、前後の便への変更でご対応頂

	ると事務局は判断しております。
委員	ありがとうございました。学生さんはスクールバス等々もあるので、必ずしもくるりんばすを使う訳ではないということもあるのかもしれませんが。
事務局	<p>学生さんの利用につきましては、朝の1・2便に利用がかなり集中していると便ごとの分析で出ていますので、そこに関しては利用の影響はあまり出ないと考えています。</p> <p>グリーンハイツバス停につきましては、再編前平成28年までの旧中コースでは、右回りのみの運行で、1日5便のみの運行していたものを今回再編後11便の運行に変えたものの、年間の利用者数としては、最も多く乗った時でも1.5倍ぐらいの伸びということで、あまり大きな変化はなく、全体としても先ほど申し上げた0.07%と少ないということもあって、再編前元々5便で行っていたところを11便としたものの改めて7便にさせていただき対応とさせていただきたいと思っております。</p>
会長	わかりました。ありがとうございます。その他いかがでしょうか。
委員	<p>昨年からダイヤ案を事務局とともに検討していく中でお願いしておりました所謂連続乗務につきまして、ご配慮いただきましてありがとうございます。我々も休憩時間ですとか、各バス停の今の遅延状況等々をきちんと精査をさせて頂きながら、今回このダイヤ設定をさせて頂いているところでございます。先ほどお話にございましたが、今回の新設停留所の時間設定について、新設バス停と直前のバス停との距離が非常に近いというところが多々ございました。バスの場合は秒まではなかなかダイヤでは謳えませんので、そこは運行事業者としてスムーズに運行できるように、また停留所にバスが停車して他の交通の安全を妨げないかということも含めまして、精査をさせて頂いてダイヤ設定をしておりますので、ご安心いただければと思います。</p> <p>お願いとなりますが、路線ごとに免許区間を地図に載せていただいていると思います。路線ごとに記載していただいておりますが、実際の届出の際には路線の延長部分もしくは廃止部分が、例えば完全に廃止区間はバスが通らない場合は廃止となります。この路線では通らないがこの路線が通るといような経路につきましては、そこは廃止にはできないので、届出の申請書を作成する際には、起点終点の地名地番等々記載する部分がございますので、日進市様とご相談をさせて頂きながら進めていきたいと思っております。</p> <p>それから今回新設のバス停の中で藤島公会堂のような私有地の中に停留所を設置する場合は、こちらも届け出になりますが、所有者の方の了承を得られたということを確認する書類を添付することになっておりますので、ご協力いただければと思います。</p>
会長	ありがとうございました。実際に支局に届出する時に両方協議いただければと思います。
委員	今回部分改正では便によってルートが変わります。ルート間違いが起きないように工夫されていることはありますか。
会長	例えばバス停の裏に貼っていますね、梅森線は次を左折だとか。どうされるかお聞かせ願えますか。
委員	バス停の道路側の方に間違いやすい箇所については、この経路は右だとか表示の設

	<p>置を実施している箇所もございます。今回便によって変わるところがありますが、これは今に始まったことではなくて、以前のくるりんばすにつきましても、例えばこの便は右回り、この便は左回りだとか経路が変わっていることはありました。赤池駅からこの便は右に、この便は左に行くなど非常にわかりにくい部分もありましたが、そういった時にはそれぞれの乗務員は運転カードというものを持っていきまして、停留所の並びと時刻が載っているカードですが、そういったところに間違いやすい箇所について矢印などを用いて記載しています。また、電子スターフと呼ばれる運転カードを電子化したものも活用しておりまして、それもピンポイントで矢印や音を出したりして注意を促すことが可能になりますので、そういったところで間違いがないように乗務員に啓発をしています。</p> <p>また一般路線では、バスの前方についている運賃を表示する箇所に、例えば停留所を出ると次は〇〇ですというような案内が流れます。その後少し声色を変えてこのバスは直進しますとか、この先右折しますなどの案内を入れ、目や耳で確認し、乗務員が間違いを起こさないような防止策をとっています。</p>
会 長	<p>ドライバーさんは問題ないかと思いますが、乗客の方が目的地にちゃんと着くのか心配ですよね。お客さんに対してわかりやすい案内を是非事務局へはお願いしたいと思います。ありがとうございました。その他いかがでしょうか。</p> <p>特段ご異論ないようですね。ダイヤはこの後さらに詳細を詰めますので、微修正があるということが前提です。また、支局への届出に関しては、一部資料の修正と、さらに名鉄さんと協議いただきながら必要な書類を出していただくということで、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。</p>
委 員	(異議なし)
会 長	<p>ありがとうございました。ご承認頂いたということで、1月4日に向けてとにかく周知をしっかりとさせていただきたいと思います。それから併せてGTFSの整備も間に合うようにご準備お願いできればと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは議題(2)日進市公共交通計画の策定について事務局からご説明お願いいたします。</p>
事 務 局	議題(2)日進市公共交通計画の策定について資料に基づき説明
会 長	<p>ありがとうございました。大幅な見直しをこれから行なっていくことを事務局から説明いただきました。新しく地域公共交通計画を作成するにあたり、まずは皆さんで目指す方向を一致させたいということでもあります。</p> <p>本来であれば繰り返しになりますが課題を明確にして、その課題に対応するべく姿を描いてくということですが、それをやっている時間もないので、一般的には課題対応型で計画策定してくわけですが、そうではなく理念実現型で、あくまでもイメージでこんなことが考えられるのではないだろうかということで、今事務局よりお示し頂いております。正解はありません。皆さんそれぞれ思いもあるかと思いますが、何なりとご自由に忌憚なきご意見を賜ればと思っております。いかがでしょうか。</p>
委 員	7月の専門部会では最後に残った20分に1人3分くらいで計画のイメージの意見を出して欲しいと言われました。いきなりということもあり、なかなかその場では意見を出すことができませんでした。その時にしっかり各委員の考え方、意見を聞く

	場を作ってくださいとお願いしました。そこはどうされますか。
会 長	いかがでしょうか。
事 務 局	<p>時間が許せば前回の会議においてももしっかり意見をいただきたいと思っておりました。しかしながら時間の都合もありまして、短い時間となってしまったことについてはお詫び申し上げます。</p> <p>本日は皆さんお集まりいただく機会でもありますので、先行してお示しをさせて頂いておりますが、先般から皆様には個別に日程調整させていただいております。9月に部会を開催するよう進めておりますので、今日この場でももちろん議論をしていただきたいと思っておりますが、部会でそれをさらに深めていただければと考えています。</p>
委 員	<p>時間がないからといってもちろん軽視していい訳ではありません。しっかり議論をしたい。できればもっと早く皆さんの意見を聞く場を設けて欲しい。</p> <p>それから専門部会は2ヶ月おきぐらいに開かれています。最低でも毎週やるべき。それくらいみんなで議論していく。専門部会も公開となっていますから、なかなか議論しにくい部分があるので、違うかたちが良いのかもしれない。その部分はどんなに時間をかけてもいいからやっていただきたいと希望します。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。議論の場をもっと密に作って頂きたいというご要望ですので、そこは部会長も含めてご相談いただければと思います。</p> <p>一方で客観的な事実に基づく議論というのも必要だなと思っています。皆さん思いもあって、思いの中で議論していただくのは重要なのですが、一方で市全体あるいは実際の人々の動き、あるいは将来の日進の姿と照らし合わせてどうなのかというところの検討も必要です。その資料の準備はかなり時間がかかります。それ故に今回もこのイメージしか出てきていないのですが、その兼ね合いを含めて事務局の準備の状況に応じて議論を深めていただければと思っています。ありがとうございます。</p>
委 員	<p>今回イメージが出された訳ですが、何事も課題抽出するのは何より大事なところではないかと思っています。今回のイメージの根拠となるものとして、令和2年度にとったアンケートが出されている訳ですね。客観的な事実、データに基づいてきちんとした現状分析することはなにより大事です。パブリックコメントの中にも、一部改正よりも全体再編に関わるような内容のことが非常に書いてあった。ユーザーの意見を提出してくださった方は多いです。例えばパブリックコメントの中には前回の経路に戻してという意見が本当に多い。前回の案は本当に使いやすかったという方も多いです。個人的な考えとしては、大きく白紙に戻して考えていく方がもちろん大事だと思うのですが、その中でもやはり前回の経路が変わらないでいて欲しかったという意見が多い中で、前回経路の何が良くて何が問題だったのかということの課題抽出が欠かせないと思います。それをしないでイメージ案を出すのは少し拙速ではないかと思えます。例えば南口の方はもう今では全然使えないと、20分歩かなければならないなど本当にユーザーの切実な意見が反映されている部分をきちんと洗い出していって、パブリックコメントの案ではこういった問題点が上がってきた、それはアンケートではこうでしたと検証する必要があります。</p> <p>アンケートの設問を私たち委員は見えていません。アンケート結果を少しだけ見まし</p>

	<p>たが、例えば2時間に1本になっても双方向に変わって欲しいですかみたいな項目も聞いて欲しかったというのがあるのですよ。アンケート分析も踏まえた上での将来イメージを作っていかなければ、誘導的な形で進んでしまう恐れがあります。</p> <p>それともう一つは駅中心に考えていて欲しいということ。市役所中心という考え方を取っ払う。客観的なデータとか意見の中からそういうものが導き出されていくのではないかと思います。例えば赤池駅から帰り乗っていくと市役所まで戻ってきます。そうではなくて、そのまま帰りたい人達が多いわけですからなぜわざわざ市役所へ行くのかと。循環線と連続させてピストンで行くなど色々なやり方があります。まさに今のイメージってまた市役所中心になっていますが、その辺りも含めて詳細な分析がものすごく必要になってくるので、これまで出てきたパブリックコメント、去年と今年のアンケートの分析をしてそれから将来イメージに持っていく。</p> <p>お尻ありきではなくても、早くやらなければいけないのですが、大事な将来イメージのところをある程度方針を固めていくには、やっぱりもう少しきちんとした分析が必要なのと、他市町の状況も見ていく必要がある。色々な手法がある中で、経費的部分も含めて比較検討も必要になる。</p> <p>この将来イメージは事務局として考えてくださっていることは分かるのですが、本当は今日その課題を分析できれば良かったと思いますが、何しろこの4月のアンケートも含めて検討材料を出して頂いて、課題分析をきちんとする。その上で将来イメージを出していく段取りですね。そういうことはしっかり考えていただきたいと思ます。</p>
会 長	<p>ご意見ありがとうございます。分析結果に関しては、次回以降出てくるということでもよろしいですね。今回は先立ってひとまずイメージとしてこんなものが考えられますが、あくまでもどれかにしたいという訳ではありません。こんなものが考えられるが、皆さんのご意見はどうかというのはお伺いしたいと。当然、先ほども申し上げましたが現状の課題を明確にすると。現状の路線の何が問題で何が良いのか。現状でもいいところはありますので、そこについてもちゃんと整理して頂く。今のお話ですと、再編前の双方向で走っていた時代のくるりんばすの良い点悪い点もよく整理して頂きながら、そして今後の日進市を見据えた時にどういう課題が出てくるのか。それに対してどんな交通手段が考えられるのか。そういったものを整理して頂きたいということですね。それは事務局から出ると思っておりますが、よろしいですか。</p>
事 務 局	<p>スケジュールではこの9月をもって分析を終える予定でありますので、本日の時点ではまだアンケートも集計の途中でございます。前計画における目標達成の評価についても整理の途中にある状況です。</p> <p>前計画というのは、再編前の平成28年度まで走っていたくるりんばすについて、こういう問題点があるので新しい計画を作って見直しましょうと行ったことの結果に対する総括になりますから、前計画の策定過程の中で、以前は利用者も多くてそのこと自体はとても良かったことだとは思いますが。反面、運行に色々な問題課題があったために見直しに至った経緯がある訳なので、そこは十分明らかになっているところではあるのですが、そこに対しては改めて評価をできると思っています。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p>

委員	<p>先ほど説明にあった少量輸送について、具体的にこういうものが考えられると説明して頂かないと全く私たち理解できません。</p> <p>29ページのところに現行予算の範囲でと書いてあります。私は基本的な考え方でいいと思いますが、良いことをやるなら若干費用が増えるかもしれない。例えばこの文言を厳格に守りますと、現行予算の範囲内で少量輸送をやるとすると、トータルの予算は同じですから、その分くるりんばすを削ることになる。これはおかしい気がします。</p> <p>先ほどお話にも出てきましたが、市役所中心はやめて居住地と駅を結ぶ路線にしましょう、その代わり居住地と市役所という路線も本数は少なくてもいいから残しましょうという案も考えられると思います。2、3日考えていますが、私にはこれならいけるという案は浮かびません。専門家の方のご意見も聞きながら市役所中心というのを外したらどんなことがあるのか。折角大改編があるので、一度原点に戻って議論すべきだと思います。</p>
会長	<p>予算に関しては大変難しいです。交通を考える会議体としては、できるだけより多くのニーズに応えられるような公共交通網を作成するという目標を立てたい。ところが我々予算の権限は一切なくて、いくら絵を描いても全く実現ができないという可能性があります。議会で決めていただくことにはなりますが、予算というものがあって、それはもう制約条件として我々に与えられることだと思っています。予算の権限がない中では、現行予算の範囲を前提として考えざるを得ないなと思っています。従いまして押し量られた通り、現行予算で少量輸送をもし入れようとするのであれば、当然どこかは削らなければいけない。そういうことになります。皆さんに大きな方向として例えば30ページで言うところの現行の形なのか、少量輸送を入れて一部くるりんばすを削るのか考え方としてはどちらでしょうかというのが事務局からの問いということかと思っています。</p> <p>それから少量輸送のイメージがわからないということですが、これは事務局もわいていないと思っています。その意味はいろんな少量輸送があり得る。そして全国ではいろんな少量輸送が生まれてきております。それも皆さんとともに、特に専門家の方もお見えですので、こんな輸送が実現するといいいよねというのを皆さんで話し合いながら、それは日進発で生んでもいいなと思っています。何も他でやっているものをそのまま入れる必要はないなと思っています。</p> <p>市役所に必ずしも行かなくていいという話はまさにそうだなと思っています。そこも皆さんとこれから話し合っ決めていけばいいかなと思っています。ただ駅に出ればいいのかどうかということも議論があるところだと思っています。その意味は再編のイメージの前にもっと重要なのは、何のための公共交通を日進市が市のサービスとして提供するかを明確にする必要があると思っています。そこが今ありません。通勤通学で使えるバスなのか、ご高齢の方々が市内の施設に行けるようにするバスなのか、あるいはその両方か。そんなことを本来皆さんとともに議論して、その時にみんなが本当に駅に行きたいのか検証すると、違う可能性も出てくるのではないかと思います。</p>
委員	<p>会長のおっしゃる通りだと思います。候補を出す前にもっと大事な考え方がある</p>

	<p>て、考え方に基づいて候補を出すならわかります。それが一番大事なことかと思いません。どんなに時間を割いてもいいので、考え方の議論をしっかりとしたいです。よろしくお願いします。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。他の計画も関連してくることがあるので、総合計画や都市計画マスタープランをご紹介いただくといいかもしれません。仮に市役所周辺を開発して都市機能を集積するなどという話があると市役所発着にするべきという議論になるかもしれませんので、機会があればお願いいたします。</p>
委 員	<p>本日の議題市内の中に報告事項(3)で高齢者福祉有償運送支援推進事業の状況についてと報告事項で上がっているのですが、この報告事項とこれからの計画策定というものは非常に深い関係があり、そのことが全く論じられていないというのが1点目です。資料を見る限り、公共交通のことしか論じられていません。少しお伺いをしたいのは、くるりんばすに乗れない方々はどうするのかという視点が資料を見る限り欠落しているのではないかと思います。</p> <p>少量輸送のイメージがわからない云々という話でございましたけども、名古屋タクシー協会では全国のタクシーを使った少量輸送の事例をすでに日進さん他全ての自治体の皆さん方にいろんな事例がありますとお渡しさせて頂いております。また名古屋タクシー協会のホームページでも閲覧することも可能ですし、国土交通省のホームページにおいてもそれ以外のものも含めて全て見られるようになっております。</p> <p>地域公共交通会議専門部会の話を楽しみにされておりますけれども、この専門部会というのは公共交通だけ扱うのですか。高齢者を含めた移動支援についてはどうやって意見を反映していくのかという部分が全く見えてきません。愛知県さんのお話をさせて頂きたくと、愛知県さんはこれから交通ビジョンを作り直します。私は検討会の委員も務めておまして、交通と福祉の連携は非常に重要だという発言を楽しみにさせて頂いております。この高齢者移動支援推進会議は愛知県のモデル事業です。そのモデル事業たるものが、この地域の交通の計画にどうやって反映されていくのか愛知県さんとしてもきちんとしたメッセージを発していただきたいということと、愛知県庁内部において交通と福祉の連携というものを十分に扱っていただかないと、愛知県の公共交通ビジョンにはならない。それを自治体の皆さんへどうやってお知らせをし、その考え方を導入していくのか。こういう考え方が重要ですが、資料を見る限り全くそういったことが見えないので、果たして本当にこれでいいのかという問題意識を持っておりますので、是非是非皆さん方もそういったところを議論していただきたいと思っております。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。後ほど、国、県から動向あるいは福祉的な交通の位置づけを補足いただければと思っております。現時点でこの福祉的な観点は確かに明確に書かれておりませんが、事務局その辺はどうお考えでしょうか。</p>
事 務 局	<p>今回お示ししたものに関しては、全体のイメージの話させて頂いていて、個別の移動ニーズ、ターゲットに絞ってどういう手法を当てはめて、計画でいうところの目標達成するために行う実施主体の部分かと思っておりますが、ここまでフォーカスを当ててしまうと詳細すぎるので、そこに関しては広い意味で少量輸送という範囲の中に福祉的な移動を概念としては含めています。</p>

	<p>ただし、私も先日8月13日の高齢者移動支援の会議には出席させていただきました、そこでの議論を拝聴しておりますが、実際に移動支援の活動をされている皆さんからお聞きしたお話としては、我々のやっていることは地域公共交通ではないという認識で皆さんおられますし、我々としてもみなさんに地域公共交通の一翼を担っていただくとは思っていません。性質が違うものだとは認識しています。ただし、地域の移動を支える上で、補完し合うということは十分可能かと思っております。どこの部分でお互い線引きをして、どこの部分で助け合えるかを見極めていくことは重要だと思います。引き続き双方情報交換をして、議論を深めながら、線引きを見ていけばいいと考えています。今回お示したものに、そこまで書くのは時期尚早かと思ひまして、そこまでの記載はしていないというのが現状です。</p>
委員	<p>非常に違和感のある発言でございました。この地域公共交通計画というのは何を記載すべきなのか、この考え方を私は全く理解をされてないと感じます。</p> <p>公共交通だけでなく、公共交通を利用できない方々はどうしたらいいのかと。自家用自動車をどうやって上手く活用するのも含めて、この地域の公共交通の中でそれぞれの役割をきちんと整理をする。これが一番大事なことだと思っております。今の発言を聞くとそんな細かなことまでは到底やりきれません。ということは従来と変わらないということだと思いますので、それでいいかどうかを議論してくださいという話を差し上げた次第です。</p>
会長	<p>発言の仕方もあるかと思いますが、当然この少量輸送あるいは今日進で始まっております住民協働での移動支援のあり方、そのものの役割というのは明確にしていく必要があると思います。今こういう時代ですので、ラストマイルすなわちバス停まで歩けない、しかしながら必ずしも福祉的な交通にだけ頼るような形でもないという方もお見えですので、今の時代に合った形で位置づけていく必要があるかと思っております。事務局こういったことということでよろしいですね。</p>
事務局	<p>決して考えないということを行うつもりは全くございません。これからやっていく予定ですが、本日の時点ではというお話です。</p>
会長	<p>いずれにしても重要な視点のご指摘いただいておりますので、我々としてもこのバスだけではなく、タクシーも含めてあるいは住民協働といった運送も含めてどういう形で役割分担をしていくのかを考えていかないといけないと思っております。</p> <p>ちなみにある自治体では、この公共交通計画の中に共助というのを明確に位置づけているところもあります。位置付けているどころか共助をお願いしたいというような形で計画を策定しようとしているところもあります。バス停まで元気に歩いて行ってすぐにバスに乗れる方ではない方々が増えてきているなかで、財政の制約というのは非常に大きくなってきて、行政だけではなんともならないという状況に陥っている、陥るだろうということです。そういったことで計画の中に位置づけていこうとしているところもあります。ただ問題はそこで全部住民に任せられるのかということ。それはおかしい。やはり公共としてやるべきところはしっかりやって、そして住民にお願いにするにしても完全に任せるわけではなくて、公共としての関与も必要で、その公共の関与をここに位置づけましょうということと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。何か補足がありましたらお願いします。</p>

委員	<p>昨年11月に地域公共交通活性化再生法が改正されました。まずその地域の将来像があって、その中でそこにある地域資源を活用して、持続可能な交通を作っていくというふうな方針が立てられています。</p> <p>加えて国では、バス中心の話にはなりますが、運行費の補助については公共交通計画を作って頂いて、そこに載っている路線に対して補助等していくこととしています。あとは貨客混載だとかMaaSというの、この計画を立てて順次進めていく中で、国の補助を使いつつ、上手く進めていただきたいというところです。もう少し具体的に言うと、令和7年度分の補助金からは公共交通計画がなければ補助は致しません。市町村へはある意味、計画策定はほぼ義務化されています。日進市においては計画策定をこのスケジュールに基づいて進めていくということですので、補助金云々はそのまましっかり進めていただければ、大丈夫なのではないかと思っています。</p> <p>国においても他の地域の事例を紹介したり、先ほど申し上げた補助金のことなどでサポートをしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>先ほどのお話の補足をさせていただきます。愛知県では平成29年にあいち公共交通ビジョンを策定いたしました。愛知県の望ましい公共交通体系の姿を示し、国・県・市町村の交通事業者と連携した取り組みを促進することを目的に策定しました。平成29年に策定したあいち公共交通ビジョンの取組期間が5年となっております。令和3年度で取組期間が満了するので、新しいビジョンの策定を進めています。</p> <p>今までに検討会議が2回行われていて、検討会議の資料はホームページ等で公開しております。今後は事業者、各市町村の意見を伺いながらの策定を進めていきたいと考えております。</p> <p>第2回の検討会議の資料の中に次期あいち公共交通ビジョンの骨子案があります。先のお話の中で福祉との連携とありましたが、骨子案の中には福祉部門との連携促進というのが施策の方向性として挙げております。ホームページで公開しておりますので、委員の皆さまは是非ご覧いただければと思います。</p>
会長	<p>こういう時代ですので、どこまでが福祉でどこまでが公共交通かという線引きは非常に難しいですが、お互いが連携をしてどこまでをどちらで受け持つのか。そして、役割分担あるいは補完関係を明確にする必要があるというのは皆さん共通の認識ですので、今回の公共交通計画では是非その辺りを議論できればと思っています。ありがとうございました。</p>
委員	<p>日進市では計画を立てる時に庁内会議あるいは職員間の会議を持たれることがあると思います。地域公共交通計画では特に福祉の連携、都市計画の視点がすごく重要になってくると思います。職員間の連携をするためにも、きちんとした会議体を持って、その報告を市民会議にいただくということもありますが、その辺りのことはどういう予定なのかお尋ねしたいと思います。</p>
事務局	<p>本計画の委託業務というのは、地域公共交通会議が発注者になっています。会議でできた素案を市に提出していただき、もらった計画案を最終的に市で修正するのか確定させるのか検討し、確定させた上で国に提出する運びとなっています。頂いた計画について検討することはあるとは思いますが、今の時点で地域公共交通会議の中で議論をしながら計画を作っていくという過程の中で、行政の会議体を間に差し込むとい</p>

	<p>うのは考えていません。今、オブザーバーとして他部門の職員も参加しておりますし、副市長も出席しておりますので、日進市の意見も入ってはいるのですが、過剰に行政のコントロールが入ることは今の段階では考えていません。必要な調整や議論は担当間では密に取って進めてまいります、そこは少し方向性が違うように感じています。</p>
委員	<p>行政のコントロールということではありません。今すごく気になっているのは、福祉有償運送や地域の移動支援等の関係はどうなっていくのか。それからまさに街づくりという観点からも都市計画にもかかってくることで、どういう公共交通を作っていくのか目標を定めていくにあたって基本計画、目標はすごく大事なことだと思っています。どういったことをするのか、主眼に持っていくのかということにはかなりきちんとした庁舎内調整が必要なもので、連絡を密にしているということだけではなくて、別の諮り方もあると思います。今お答えがなくても結構ですので、是非検討していただきたいと思います</p>
会長	<p>逆かなと思っています。我々で絵を描いて、それを庁内の関係部署に照会していただくことだと思っています。そのために土木管理課と地域福祉課の職員の方に来ていただいています。少なくとも都市計画と福祉関係との連携はできますし、そちらの情報もいただけるはずだと思っています。そういう関係部署で決めてもらったものをここに出してもらうのではなくて、ここで作って考えたものを照会していただいて、大丈夫ですか、こういうところが足りないとかありませんか、ということを反映させてもらう進め方だと思っています。</p>
委員	<p>会長も先ほどおっしゃったように、地域の公共交通というのは何の目的であるのかということ、やっぱり通勤・通学それから病院だとか買い物とかそういうもので利用するということですが、乗っている人が少ないっていうのがすごく問題じゃないかなと思います。この2年間で本当に増えていません。それが全然改善されてなくここまで来てしまったっていうことです。そんな中で前の部会でも、2時間に1本でもいいから以前の双方向に戻して欲しいという意見が多いと伺いました。以前は南ヶ丘で通勤の方がすごく利用されていて、バス停に並んでいました。帰りも赤池駅で15人以上並んでいまして、私も座れるか心配しながら後ろの方に並んだりしてましたので、一度離れてしまった方達がどうしたら戻ってこられるのかと考えています。元に戻すこともすごく大変なことかもしれないのですが、とにかく乗る人を増やすということを考えて欲しいなと思います。</p> <p>私は車に乗れないので、くるりんばすがなくなったら困ります。少量輸送だとか、移動支援や有償運送などが出てくることによって、くるりんばすを利用する人が減るのではないかなという心配もあります。くるりんばすでまだ動ける人はやっぱり動いて色んな所に行ってもらって、人間楽をしてしまうとどんどん老化が進みますので、歩いてくるりんばすのバス停に行き、1時間待ってまた買い物済ませて、自分の足でくるりんばすに乗って帰ってくるっていうようなことをしてもらえたらいいと思います。私もなるべくそうして生活していきたいなと思っています。とにかくくるりんばすに乗る人を増やすにはどうしたらいいかっていうことを原点に戻って考えて欲しいと思います。くるりんばすに乗らないから違う方法を考える</p>

	と、ますますくるりんばすから人が離れていってしまうと思いますので、そこら辺を考えていただきたいなと思います。
会 長	<p>ありがとうございます。コロナ禍ということもありますが、利用者が減ってきているので、たくさん乗ってもらえるようくるりんばすについて考えてもらいたいということですね。</p> <p>ちなみにですね、南ヶ丘からの通勤にご利用いただいているという話がありましたが、先ほど冒頭に申し上げましたが、これは日進市としてどういった公共交通を作るということに関わると思います。たくさん乗ってもらおうと思ったらたくさん人が住んでいるところを駅と最短で結べばいいのです。間違いなく大勢乗ります。あるいは高校です。例えば日進西高校と赤池駅を真っ直ぐ結んで、始業時間に合わせれば雨の日なんかだと乗りこぼしが出るほど乗ってくれると思います。でもそうするとそうではない移動の方々が困ってしまいます。確かに人は乗っていますが、不便なところに住んでいる人は困ってしまう。すなわち市として、どういう人たちのどういう移動を支えるのか、それは市の将来にどう関わってくるのか。そこを皆さんと十分議論しなければなりません。</p> <p>もう1つは税金で運ぶという点。公共のサービスとして何を市が提供するのか。通勤でいうと会社から通勤費が出ていますね。通勤利用の方は運賃に感度は低いです。運賃が高いからという理由で利用をやめることはあまりありません。なぜかという自分料金で払っていないからです。とにかく言いたいのは数だけ狙えばいい訳ではないことです。私は基本的に移動に困っている人が困らないような交通体系を作るのが大事だと個人的には思っています。</p>
委 員	<p>7月にアンケートを取っていただいて、その結果見せて頂くのを待っているのですが、そこでは使っている人の意見は聞けたとして、私ずっと言っているように乗らなくなった人は今どうしてるのかというのが気になっています。前回のパブコメとそれから一生懸命してくださっている地域別のワークショップで拾っていると認識していらっしゃるのかどうか。</p> <p>もう1点は何のための公共サービスを提供するのかっていうことをここで熟議していかないといけないということです。このタイトなスケジュールの中で、どのタイミングで、どんな手法で進めていくのか。委員それぞれ思いはあると思いますが、一致団結してこういうことだと明確になっていないので、どういったスケジュールでやっていくのか教えていただきたいです。</p>
事 務 局	<p>今日もいわばその一部で、皆さんから色々な意見が今出ていること自体が、その方向性を議論する重要な素材だと認識しております。次はまた課題が出てきますからこの課題を解決する上で、どういう方向性でやるのかという議論の中で、何を重視すべきなのかということが議論されれば、解決すべき問題点として出てきます。市がお金を出して解決しなくてもいいという課題であれば、くるりんばすの機能ではないということになりますので、そういったことをそれぞれの会議の場において、念頭に置いてご検討いただければというのが我々の考えでございます。</p> <p>乗らなくなった方のことですが、今のところ考えられる手法として基本的には市民アンケートに加えて地域別ワークショップとしていますが、パブリックコメントをま</p>

	<p>た実施しますので、そちらは乗らなくなった方も意見を提出していただけると思いますが、期待しているところがございます。</p>
委員	<p>SDGs の話をすると、9年後の2030年のゴールが見えてきました。グリーンランドに初めて雨が降ったっていう話を見てびっくりしたのですが、公共交通を利用してCO2を削減することも本当に一緒に考えていかないといけないっていうことは、もう1つ付け加えさせていただきたいと思います</p>
会長	<p>先ほど私は困っている方の移動を支えるような公共交通がまず必要だと申しあげましたが、日進市の発展を考えると通勤・通学層も狙うべきだと思っています。さらに今お話しいただいたようなSDGs、二酸化炭素削減、あるいは歩いて暮らせるまち、所謂ウォークアブルなまちなどを日進市が打ち出すのであれば、もっと充実した公共交通が必要だと思っています。ただ打ち出すのであれば、お金をつけて欲しいですね。実は大きなところで方向性が定められて、その手段として公共交通がある。ただその大きな目標のためには、市が予算配分の方法を変えてもらわないといけないなと思っていて、残念ながら今のところ現状の予算でということであれば、少なくとも困っている方をと先ほど発言させていただいたということです。</p>
委員	<p>30、31ページの案は元々くりんばすに対して、本数だとか双方向などという意見はグラフにある通り、少し多めなので、おそらく事務局が今の予算の範囲内でただ単に切った場合、空白ができてしまうので、それを面で補う場合はこうなるということだけをただ単に出しただけだと思います。ですので、皆さんが仰っているような大きな広い意味というところはここには全く関係なくて、最後の個別の事業にあります通り、目標を達成するために行う事業とか実施主体と書いてあるところが、このイメージ図になるので、本当に今議論しなければならない基本的な方針のところ今のところ全く話が及んでいないと思います。</p> <p>あと気になるのは、名鉄バスの話が全く触れられていないことです。アフターコロナのことも考えると、これは名鉄バスがそのままということが前提になっていますが、ネットワークとしてはもう少し全体像が見えるような形でデータを揃えていただければと思います。</p> <p>交通と福祉の絡みにつきましては、私は前々回の会議に出させて頂いた際に発言いたしました。このくりんばすの運行目的がそもそも高齢者支援という話があって、一方で福祉部局では高齢者移動支援だと言われるので、市全体としてはどのように考えるのですか。バラバラ進めていてもしょうがないという話をさせて頂いたつもりなのですが、それがそのままになっているので、引き続き精査をお願いしたいということです。</p> <p>先ほど庁内調整の話もありましたが、資料に上位関連計画の整理とあります。コンサルさんは現況整理という中でおそらくこの辺をされるのだらうと思っています。矢印を見ると9月末まで引っ張ってありますが、分析の前までにそれは終えて欲しいです。各計画を作る際に、庁内調整はされた上で作られていると思いますので、その辺りはどのような議論があったのかというのは紐解いて行って欲しいです。</p> <p>このスケジュールの一番最後がパブコメで計画案を作って終わりのところまでになっていますが、誰が作るのかというと日進市ですので、公共交通会議でできるのは</p>

	<p>計画案まででしょうけども、その後日進市の中で当然決裁を取って、日進市の計画として世の中に出していただくこととなりますので、次回以降で結構ですが、日進市として計画を策定するところのまでのスケジュールを含めて出していただければと思います。</p>
会 長	<p>ご意見ということ、スケジュール修正をお願いしたいと思います。たくさんご意見いただいております。頂いた意見を踏まえながら、整理あるいは資料提供あるいは議論の進めというのをお願いしたいと思います。</p> <p>それからイメージに関しては今回特段これだというのはなかったと思いますが、考え方等々について色々頂いたと思っておりますので、ここはこの後の課題が出ていく中でだんだん方向性が示されるのだろうと思っております。ありがとうございました。(3) その他がなければ報告事項をお願いします。</p>
事 務 局	<p>報告事項(1) 令和3年度の運行状況について資料に基づき説明</p>
会 長	<p>報告事項(2) 令和2年度歳入歳出決算監査結果について、監査報告をお願いします。</p>
監 査 委 員	<p>監査委員2名で収入と支出の調書、出納管理簿、通帳を審査した結果、全て正確かつ適正に処理されているということを確認しまして、ご報告とさせていただきます。</p>
オブザーバー	<p>報告事項(3) 福祉有償運送・高齢者移動支援推進事業の状況について地域福祉課より資料に基づき説明</p>
会 長	<p>ありがとうございました。本日の議題は以上です。報告事項等で何かご意見・質問等あればお願いします。</p>
委 員	<p>コロナ禍においてこの大事な計画を作っていくので、是非オンラインの整備を積極的にしていただきたい。ハイブリットで構いません。書面会議になってしまうことは避けたいので、できる限りの会議のオンライン化をぜひお願いします。</p>
会 長	<p>日進市の他の会議もハイブリットで行っているので、書面にすることはなく、ハイブリットやオンラインで行うようお願いします。</p>
事 務 局	<p>本日の会議の傍聴は第1会議室に中継して行っています。これは実験的にしているもので、本日の会議の成果を踏まえて、オンラインでの開催を実施に移していきたいと考えています。</p>
委 員	<p>今日のような議論をどんどん行って頂くことをぜひお願いをしたいということ、タクシー事業者の考え方、意見も聞いていただきたいと思っております。</p> <p>先ほど、予算の話もありましたが、公共交通の予算だけで考えるとおそらくこういうような形になるのかなと思っております。そうではなくて、福祉の予算をどのように活用したらいいのかということは、是非副市長さんにもご検討いただければと思っておりますので是非宜しくお願いいたします</p>
会 長	<p>公共交通会議としては現状通りではなくて、より一層予算が付く方向が望ましいと思っておりますので、是非会議の雰囲気もお伝え頂ければと思います。</p> <p>今日もたくさんご議論いただきまして、ありがとうございました。いつも意見をいただき、みなさんが自分事として考えて頂いていることに感謝申し上げたいと思っております。</p>

事務局	<p>皆様ありがとうございました。全線再編の議論の中で、今回少し唐突に思われた方もいらっしゃるかと思いますが、地域公共交通をどうしていくかというのはすごく大事な議論だと思っています。くるりんばすやタクシー、鉄道などを日進の課題に照らしてどうしていくのか。地球温暖化であるとか長期の視点も含めて、こういった形で皆さんにご意見を頂きながら、スケジュールが少しタイトだというご意見もありましたが、全力で移動政策として、今できることと年数をかけてブラッシュアップしていくことで、市民の方の様々な課題を一つでも多く解決できるように全力で行ってまいりたいと思っています。今後とも皆さんと一緒に未来の交通をしっかりと作っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>次回の会議につきましては、第8期の委員の委嘱に併せて10月の開催を予定しております。それでは本日の会議を終了します。お気をつけてお帰りください。本日はありがとうございました。</p>
-----	--